

家庭学習のてびき

間々田小学校 保護者版



「いつ、どれくらい 勉強するの？」

- ・本校では(学年×10+10)分を呼び掛けています。更にできる時も、2~30分に区切り、途中で休み時間を入れた方がしっかり身に付くとされています。
- ・下校したらすぐ、とか、学童から帰ったらすぐ、とか、時間を決めて学習できるようにご協力ください。
- ・宿題が終わったら、残りの時間は自主学習にあてます。
- ・苦手なものは、最初効果(最初に学習すると覚えられる)で克服!はじめに取り組みせましょう。

「どんなふうに 勉強するの？」

- ・授業やテストで間違えた問題をその日のうちに家庭学習でやり直すことは学力向上の基本です。
 - ・しっかり声を出して音読させましょう。漢字スキルをまるごと1冊スピーディに音読するのもオススメです。
 - ・習った漢字を使っていろいろな言葉を書くことで、語彙を増やしましょう。
 - ・「。」や主語、述語に気を付けて、伝えたいことを文に書くことで、作文のスピードが上がります。段落を忘れていたら、気付かせてください。
 - ・計算はマスを使っていねいに書くことが大切です。筆算は、定規で線をひくことになっています。
 - ・計算のやり方を覚えたら、いろいろな計算をランダムに組み合わせる解くのがオススメです。頭の回転が速くなります。
- 勉強とは別に、高学年なら毎日1時間くらい、いろいろな本を読むのがオススメです。



「さあ、始めよう！」

- 学校のプリントと連絡帳は、毎日見てください。できれば、そのついでに学習の話もしてみてください。
- お子さまが勉強するときは、テレビを消して、机の上をきれいにしてから始められるようご協力ください。
- 学習の前に、できなかったことや心配になることを話題にすると効率が落ちます。



「何分勉強できるかな？」

- まずは宿題です。ていねいに書いているかチェック。
- わからないところは、教えていただいて構いません。
- 勉強した時間を記録すると、1週間で何時間学習したかわかります。やる気につながるかも!?



「考えたあとがわかる自学ノートに！」

- 宿題後、まずは今日の復習、高学年なら明日の予習(意味調べや、明日の授業のための復習)を中心に自学ができるよう、アドバイスをお願いします。
- 計算ができるようになったら、今度は、いろいろな計算をランダムに!1問1問丁寧に解き、間違えたら原因を考え、できるまでやり直すように励ましてください。繰り返しで、長期記憶として定着させましょう。
- 疑問をもつのは大切。知りたいことを調べたら、自分の生活や体験と結びつけて考えさせると賢くなります。
- 時々、1週間前の復習をするのも、オススメです!

「明日の準備で、今日も完璧！」

- 忘れ物は学力向上の敵!でも、全教科持ち歩くのもNG。時間割をチェックさせましょう。
- 鉛筆、削っていますか?下じき、持っていますか?当たり前のことですが、毎日のことだからなおさら、学習の成果に大きな差が生まれます。